

第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成20年9月10日(水) 5校時
児童数 第1学年 男3名 女1名 計4名
指導者 沼田 誠司

- 1 主題名 しんせつになった おおかみ (思いやり 親切2-(2))
- 2 資料名 はしの うえの おおかみ (みんなのどうとく 1ねん 学研)
- 3 主題設定の理由

(1) 児童について

小学校に入学して1学期を過ごした子どもたちは、小学校の生活にも慣れ、張り切って生活している様子が見られる。子どもたち同士の関わりを見ると、友達の係の仕事を手伝ったり、怪我をして泣いている友達に声をかけてあげたりする様子が見られる。また、友達に親切にしてもらおうと、「どうも、ありがとう。」と素直に話すことができる子どもたちであり、親切な行いは、する側もされる側も気持ちのいいものであると感じている様子である。

しかし、時には授業や遊びの場面で自分の都合のいいように行動したり、相手の気持ちを考えられず思いやりのない言葉をかけてしまったりすることもある。そこで、本時の学習を通して、相手の立場や気持ちを考え、思いやりの気持ちをもって行動する意欲をもった児童を育てていきたい。

(2) 価値について

低学年の指導項目2-(2)は、「身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。」となっている。これは、中学年の「相手のことを思いやり親切にする。」高学年の「だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。」、中学校の「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し感謝と思いやりの心をもつ。」に発展していく内容である。

相手に対する思いやりや親切な心は、よい人間関係を築くために不可欠である。その心情を育てることが、相手に対して温かく接することや相手の立場に立った励ましや援助など、具体的な親切な行為につながっていくのである。低学年の段階では、特に身近にいる幼い人や高齢者などに目を向け、だれに対しても温かい心で接し親切にするこの大切さを指導することが重要になってくる。

(3) 資料について

一本橋の上で次々と渡ってくる自分より弱い動物たちに意地悪をして、おもしろがっていたおおかみが、自分より体が大きく力も強い熊と出会う。その熊に思いがけずに親切に橋を通してもらったことで自分の行動を反省し、今度は熊のまねをして他の動物たちに優しくするという内容である。場面ごとに変化するおおかみの気持ちを追いながら、親切にされたときの気持ちを捉えさせることを通して親切にするこの大切さに気付かせたい。

(4) 指導上の工夫について

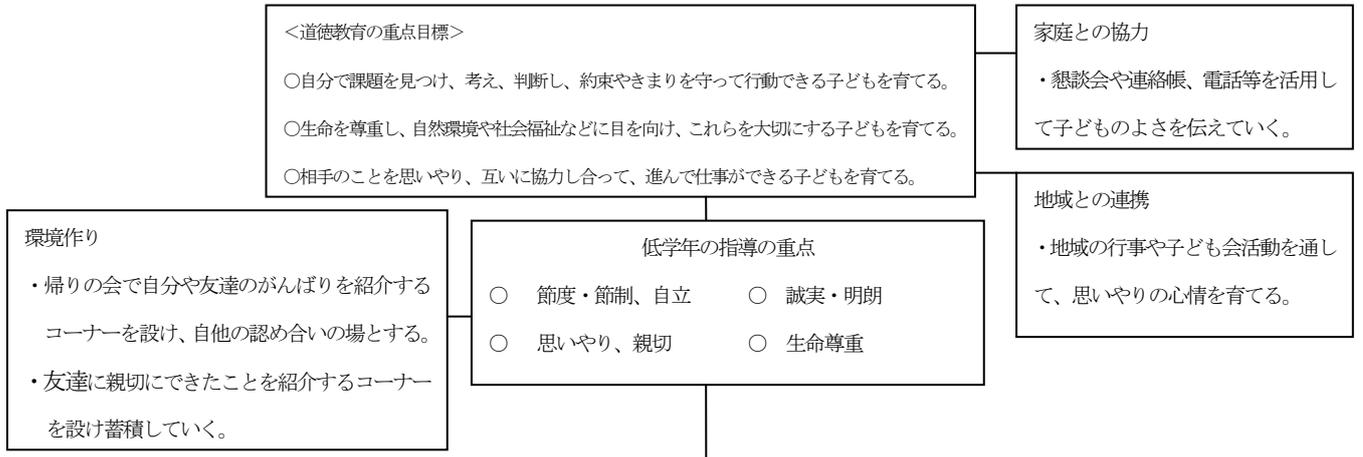
「気づく」の段階での資料提示にあたっては、資料に興味をもって読むことができるように紙芝居を活用する。

また、「深める」段階では、場面ごとに変容するおおかみの気持ちを捉えることができるように児童がおおかみの役を動作化する。板書については、場面ごとにおおかみと他の動物たちの挿絵を提示し、気持ちを書いていくことで絵本の1ページのように構成する。

さらに「みつめる」の段階では、資料と関連させて自分が親切な行動をしたことやそのときの気持ちを振り返ることで価値の一般化を図る。

そして、「まとめる」の段階では、保育園との交流後に園児にインタビューしたビデオを見せる。交流会で自分より幼い子どもたちに思いやりをもって接した時の心情を振り返り、園児に喜んでもらったことに気付かせることで道徳的实践意欲を高めていきたい。

4 本時の道徳的価値を育む指導の構想図



月	学校行事	学級活動・体験的活動	道徳の時間	各教科の学習	日常の指導
四月	入学式 入学おめでとう会 交通安全教室 防犯教室	○どうぞ、よろしく ○みんなで遊ぼう	学習指導要領の内容 2- (2) 身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。 <思いやり・親切>	○体育 「てつぼうあそび」 友達の演技のいいところを探し発表したり、アドバイスをしたりする。	○朝や帰りに自分や友達の親切を見つけて発表できるように働きかけをする。
五月	授業参観日 運動会 花壇整備作業 苗遊び交流会	○楽しい運動会			
六月	校外学習	○おたのしみかいをしよう	○国語 「すきなもの、おしえて」 友達の好きなものについて尋ねたことをもとに相手に分かりやすいように話す。	○授業の中での間違った発言を価値のあるものとして扱い、認め合う雰囲気を作る。	
七月	七夕相撲大会 海学習	○おたのしみかい			○図工 「友達の 作品を 見よう」 友達の作品のいいところを発表する。
八月	終業式 始業式 作品展	初めての学習発表会	○あたたかい ころこ 「きみにあげるよ」 身近にいる高齢者や幼い人に温かい心で接し、相手の立場に立って親切にする喜びを育てる。	○家庭や地域でのお手伝いや役割について考えさせ、子どもたちの活動の様子を紹介する。	
九月	秋祭遠足 お月見集会	○六年生を送る会に向けて			○体育 「なわとび (長縄)」 多く跳べるように縄の回し方や跳び方を考える。 「あたらしい1年生を むかえよう」 来年入学する1年生のことを考えて、プレゼントや飾りを作る。
十月	学習発表会 音楽発表会	よう	○進級パーティ		
十一月	授業参観日				
十二月	終業式 始業式				
一月	作品展 六年生を送る会				
二月	授業参観日 ひな祭り集会				
三月	終了式 卒業式				

本時の指導

(1) ねらい 親切にすることが、相手にも自分にも気持ちのいいことだと気づき、身近にいる人に自分から親切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問 (◎中心発問 ○発問)	期待する児童の反応	指導上の留意点
気づく 6分	<p>1 友達やまわりの人に親切にした経験を振り返る。</p> <p>○ 今まで、友達やお家の人に親切にしたことを発表しましょう。</p> <p>2 資料「はしのうえのおおかみ」を読み、感想を発表し、学習の方向性をする。</p> <p>○ おおかみのことをどう思いましたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の係を手伝ったよ。 ・ 落ちている消しゴムを拾ったよ。 ・ 給食の時にみんなの机を運んであげたよ。 ・ 係のお手伝いをしたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がこれまでに親切にしたことを振り返ることで価値に焦点をあてる。 ・ 資料を紙芝居にすることで、場面の様子をよく捉えられるようにする。 ・ 子どもたちの感想からおおかみの行動に変容があったことに気付かせ、その点に触れながら、おおかみの気持ちを考えていくことを確認させる。
深める 23分	<p>3 おおかみの気持ちについて話し合う。</p> <p>○ どうせんぼうをしたおおかみはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>○ くまに出会ったとき、おおかみはどんな気持ちになったのでしょうか。</p> <p>◎ くまに抱き上げられて、おおかみは後ろ姿をどんな気持ちで見ていたのでしょうか。</p> <p>○ うさぎを抱き上げて、おおかみはどんな気持ちになったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俺は強いぞ。もどれ、もどれ。 ・ 俺が先に行くぞ。 ・ いぼるのは、楽しいな。 ・ くまさんは大きくてこわいなあ。 ・ 道をあけないと大変だ。 ・ お先にどうぞ。 ・ 「どけ。」と言われるかと思ったのにびつくりした。 ・ ありがとうくまさん。 ・ 優しくされて嬉しいな。 ・ 僕も親切にしてみたいな。 ・ 親切にするのは、気持ちがいいなあ。 ・ もっと親切にしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おおかみの意地悪をして楽しいという気持ちを十分に考えさせ、共感させる。 ・ 自分より弱い相手に対して、おおかみがいぼっていることを捉えさせる。 ・ 相手によって違う行動をとるおおかみの姿を捉えさせる。 ・ 動作化をし、おおかみが親切にされて嬉しかった気持ちを感じ取らせる。 ・ 自分の考えを確かにさせるために学習プリントにおおかみの気持ちを記入させる。
見つける 8分	<p>4 これまでの自分の生活を振り返る。</p> <p>○ おおかみさんのように親切にできたときの気持ちを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のこどもたちと遊んだよ。楽しかったよと言ってもらえて嬉しかったよ。 ・ 友達の係を手伝ったときに優しい気持ちになったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの自分の行いをとそのときの気持ちを振り返らせ、価値の一般化を図る。

ま と め る 8 分	<p>5 保育園での活動を振り返り、園児へのインタビューを見る。</p> <p>○ 1学期に保育園にいて、小さいお友達と遊んだことがありましたね。保育園のみんなに遊んだ後の感想をインタビューしたので見てみましょう。</p>	<p>・保育園との交流会の様子を見ながら楽しんでもらってよかったなあという思いをもたせ、実践への意欲につなげる。</p>
----------------------------	---	--

6 板書計画

はしのつえの おおかみ
「えへん、へん。」

うしろすがたをいつまでもみていました。

おおかみ

おおかみ

うしろすがたをいつまでもみていました。

おおかみ

まえよりも ずっと うしろがまをみてました。

くま

おおかみ

あ。

おおかみ

おおかみ

おれは つよいんだ。
みちをあける。いじわるは、たのしいな。
もっと いばりたい。

ちやうへんをわけて びっくりました。
あじがよかつくまをたべた。
ちやうへんをわけて うれしいな。
ほくも しんせつにしてみたいな。

しんせつにするのは、うれしいな。
もっとしんせつにしよう。
しんせつにするときもちがいいな
あ。

7 資料分析表

主題名 しんせつになった おおかみ (出典 学研 みんなのどうとく 1ねん)

ねらい 親切にすることが、相手にも自分にも気持ちのいいことだと気づき、身近かにいる人に自分から親切にしようとする心情を育てる。

場面	おおかみが、動物たちを追い返す場面	おおかみが、くまに出会う場面	おおかみが、くまに親切にされる場面	おおかみがうさぎに親切にする場面
主人公の心の動きと外的状況	<p>一本橋の向こうから自分より弱い動物が来る。</p> <p>楽しさ おもしろさ</p>	<p>はしのまんなかにくまが のっそり立っていた。</p> <p>き 不安</p>	<p>くまがおおかみをだきあげ、後ろにそっとおろしてくれた。</p> <p>○ き ○ 嬉しさ ○ 気づき「親切をされると気持ちのいいものだなあ。」 ○ れ「自分も親切にしたい。」</p>	<p>おおかみがうさぎを抱き上げ、そっと後ろにおろしてあげた。</p> <p>○ 親切にすることの心地よさ ○ 気づき「親切をされると気持ちがいい。」 ○ 意欲「もっと親切にしたい。」</p>
児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意地悪は楽しい ・ ぼくは、強いおおかみだぞ。先に通るぞ。 ・ もっと、意地悪をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きなくまさんだ。どうしよう。 ・ くまさんは、強そうだなあ。く道をあけないと。 ・ こわいなあ。て言われるのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ とても優しいな。 ・ ありがとう、くまさん。 ・ 親切にされると気持ちがいいものだな。 ・ 僕も親切にしてあげたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親切にしてあげると、気持ちがいいんだなあ。 ・ また、かに親切にしてあげたいな。
発問	○おおかみは、どんな気持ちでとおせんぼをしたのでしょうか。	○くまに出会ったとき、おおかみは、どんな身持ちになったのでしょうか。	◎くまにだきあげられて、後ろ姿を見ているおおかみはどんなことを考えたでしょうか。	○うさぎをだきあげて、おおかみは、どんな気持ちになったのでしょうか。